

教育分野 政策 1 「魅力ある教育の推進」

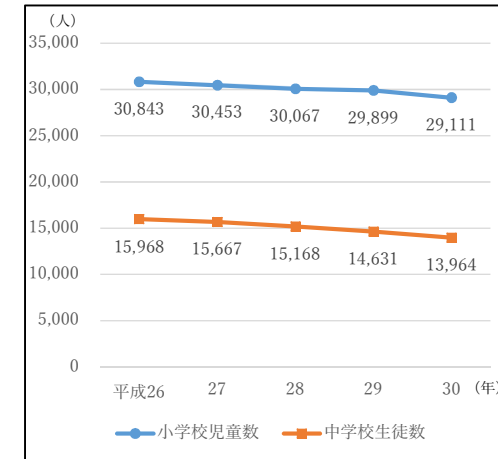
目指す姿

- 充実した教育環境の下、すべての子どもに心豊かにたくましく生き抜いていく力が育まれている。
- 大学等の高等教育機関が、多様な教育の機会を提供するとともに、自らの強みや特色を活かした研究活動などを通じて、地域社会の活性化に貢献している。

【現状と課題】

- 国は教育の情報化を推進しており、本市の教育現場においても、個別に最適化された学びの実現や教職員の事務効率化のほか、災害時などの非常事態に伴う臨時休校時の学校園の教育環境の課題に対して、ICT やデジタルコンテンツを効果的に活用することが求められています。
- 放課後や休日の部活動指導等の学習指導以外の対応による教職員の負担が増えているほか、小学校における外国語教育の教科化をはじめとした新たな教育分野への教職員の対応力の向上が求められています。
- 少子化の進行や児童生徒数の地域的な偏りによる学校規模の格差の顕在化など、学校運営上の工夫だけでは教育の機会均等の確保や教育水準の維持向上を図ることが困難になっています。
- 子どもの学力や進路の選択に差が生じる要因として、各家庭の経済事情や外国人児童生徒への言語対応の状況などが挙げられます。
- 子どもや親の抱えている課題や学校での人間関係、家庭の状況などが複雑化・多様化する中で、いじめや不登校などに対応するため、学校と専門家や専門機関との連携が求められています。
- 本市は、地域行事に参加している子どもが多く、また、地域団体がスクールヘルパー等の学校安全ボランティアとして子どもの安全確保に協力している一方で、個人主義の浸透や共働き家庭の増加などにより地域活動に参加する人が限られ、地域全体で子どもを育てる意識の低下が懸念されています。
- 本市には、大学・短期大学が5校あるほか専修学校も多数あり、これらの高等教育機関は、社会人の学び直し（リカレント教育）を含む人材育成や、産官学連携の推進などを通じて、地域社会の持続的な成長に重要な役割を担うことが求められています。
- 医療系高等教育・研究機構と県立はりま姫路総合医療センター（仮称）との一体的な整備など、本市の高等教育機関が持つ強みや特色を伸ばしていくことで、高等教育機関の魅力が高まり、多様な地域から人材が流入し定着することが期待されています。

※関連データ：児童生徒数の推移



(資料) 姫路市統計要覧 (姫路市)

【目指す姿を実現するための方向性】

人
地
域

活
力

ア 多様な主体が連携した子どもの育成

- 家庭や地域の学校運営への参画を促進するとともに、地域人材や地域団体と連携した多様な活動を展開することで、学校、家庭、地域の教育力の向上を図ります。
- 社会的・職業的自立に向けた基礎を学ぶキャリア教育や、ふるさと意識の向上を図るための郷土教育、祭り等の地域行事への参加などを通じて、社会の中で自らの役割を果たしながら自分らしい生き方を実現するために必要な能力や考え方を育てます。

イ 大学の特色を活かした地域の活性化

包括連携協定などを通じた多様な分野における市と大学との連携を進めるとともに、公開講座等の開催支援や大学施設の地域開放の促進などを通じて、大学の有する高度・専門的な資源を地域に還元することで、地域の活性化を図ります。

ウ 生きる力を備えた子どもの育成

- 自ら学び、考え、より良く問題を解決する資質や能力、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、国際的視野に立つて主体的に行動し、多様な人々と共に生きる考え方、たくましく生きるための健康や体力を身に付けるための教育を進めます。
- 小中共通の教育目標を設定し9年間を見通した教育を行う、小中一貫教育を進めるとともに、子ども一人ひとりの発達段階や学習課題に応じた、個別最適化された学びを実現するため、ICTを活用した教育を進めます。

エ 知の拠点としての高等教育機関の充実

大学等の高等教育機関が行う多様な人材の育成や産学連携などを促進するため、地域における知の拠点としての高等教育機関の教育研究環境の充実を図ります。

オ より良い学校環境の整備

園舎・校舎等の改修や ICT 環境の整備を進めるとともに、活力ある学校づくりのための学校規模・配置の適正化を図るなど、より良い学校環境を整備します。

カ 特別支援教育の充実

特別な支援を要する子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育的支援を行うとともに、学校園における医療的ケア体制の構築に取り組みます。

キ 学びを支える教育環境の充実

- 経済的理由による就学困難な子どもへの支援や外国人児童生徒への日本語指導の充実など、教育格差の解消に向けて取り組みます。
- 学生の様々な状況に対応した奨学金制度により、学ぶ意欲のある学生の就学を支援するほか、幼児教育の無償化など教育にかかる負担の軽減に取り組みます。

ク 子どもの心に寄り添う指導と教育相談体制の充実

- 子ども一人ひとりの心に寄り添い、子どもの気持ちや考え方の理解に努め、発達段階や実態に応じた適切な指導と必要な支援を行うなど、教職員による心の通い合う生徒指導を進めます。
- いじめや不登校など、複雑化・多様化する子どもの悩みや課題に対応するため、専門的知識を有するスタッフによる相談窓口を設置するなど、教育相談体制を充実させます。

ケ 教職員の教育指導環境づくり

- 教職員が外国語やプログラミング教育などの新たな教育分野の知識・技能を身に付けることができる教育研修を充実させるとともに、教育の課題に的確に対応していくための教育研究を支援します。
- 外部人材や ICT を活用するなど、教職員が担う業務負担の軽減に取り組み、子どもの教育指導に専念できる環境づくりを進めます。

市民、地域コミュニティ、企業・団体に期待すること**市 民**

- 家庭で、子どもの生活や健康、学習習慣づくりに取り組みましょう。
- オープンスクールを通じて地域の子どものと交流しましょう。
- 大学の公開講座等に参加しましょう。

地域コミュニティ

- 地域ぐるみで子どもを育てるため、学校園の教育活動や子どもの見守り活動などに協力しましょう。

企業・団体

- 職場見学や職場体験を通じて、子どもたちに働くことの大切さを教えましょう。
- 産学連携などにより、新たな技術・製品開発や地域の課題解決に取り組みましょう。